



## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **03067395 A**

(43) Date of publication of application: 22.03.91

(51) Int. Cl.

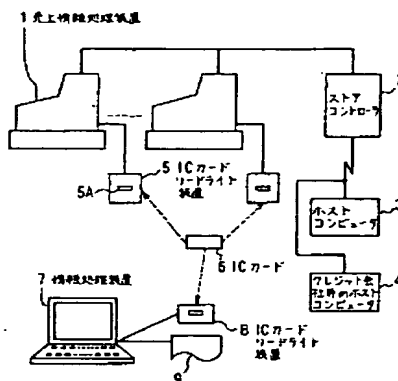
**G07G 1/12**(21) Application number: **01202982**(71) Applicant: **FUJITSU LTD**(22) Date of filing: **04.08.89**(72) Inventor: **KAWAMATA HIROSHI**(54) **PROCESSING SYSTEM FOR SALES INFORMATION**

COPYRIGHT: (C)1991,JPO&amp;Japio

(57) Abstract:

**PURPOSE:** To obtain the processing system which which reduces the cost and trouble by writing receipt information on an information recording medium instead of issuing a receipt.

**CONSTITUTION:** When a customer carries an IC card 6 and goes to a sale information processor 1 for purchase, an operator inserts the IC card 6 into an IC card reading/writing device 5. The processor 1 performs sale processing for articles that the customer purchases when the security code is coincident. After dealings, the sale information is sent to a host computer 3 together with the customer information and the card 6 is returned. Then the customer inserts the IC card 6 into an information processor 7 at home, etc., to confirm the bought articles and the amount of money and prints them out at need. Thus, no receipt needs to be issued, so the cost is reducible and the trouble to replace a form is eliminated.



⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

## ⑫ 公開特許公報(A) 平3-67395

⑤ Int. Cl.<sup>8</sup>

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成3年(1991)3月22日

G 07 G 1/12

3 2 1 P

8610-3E

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全5頁)

⑬ 発明の名称 売上情報の処理方式

⑯ 特 願 平1-202982

⑰ 出 願 平1(1989)8月4日

⑱ 発 明 者 川 股 浩 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社  
内

⑲ 出 願 人 富士通株式会社 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地

⑳ 代 理 人 弁理士 井 桁 貞一 外2名

## 明 細 書

## 1. 発明の名称

売上情報の処理方式

## 2. 特許請求の範囲

売上情報を処理する売上情報処理装置(1)と、  
該売上情報処理装置(1)に接続され、情報を記録  
する情報記録媒体(6)から情報の読出しまたは書  
込みを行なう媒体読出書込装置(5)を備え、顧客  
の買物時には前記情報記録媒体(6)を前記媒体読  
出書込装置(5)に挿入して売上情報を前記情報記  
録媒体(6)に書き込むようにしたことを特徴とす  
る売上情報の処理方式。

## 3. 発明の詳細な説明

〔概要〕

情報記録媒体を用いた売上情報の処理方式に関  
し、

レシートを発行するかわりに、レシート情報を

情報記録媒体に書き込むことで、経費がかからず  
かつ手間もかからない売上情報の処理方式を提供  
することを目的とし、

売上情報を処理する売上情報処理装置と、該売  
上情報処理装置に接続され、情報を記録する情報  
記録媒体から情報の読出しまたは書込みを行なう  
媒体読出書込装置を備え、顧客の買物時には前記  
情報記録媒体を前記媒体読出書込装置に挿入して  
売上情報を前記情報記録媒体に書き込むように構  
成した。

## 〔産業上の利用分野〕

本発明は、情報記録媒体を用いた売上情報の処  
理方式に関する。

スーパー、百貨店、専門店などで用いられてい  
るPOS(Point of Sales)端末などの売上情  
報処理装置では、顧客が買物をするたびに商品情  
報および金額などを印字したレシートを顧客に発  
行するようになっている。

買物ごとにレシートを発行するのは、経費がか

## 特開平3-67395 (2)

かり、また、用紙つまりや用紙がなくなったときは、用紙の交換が必要であり、手間もかかっていた。また、レシートの発行は混雑時には行列をつくる原因でもあった。

したがって、レシートを発行することなく、顧客に買上商品情報を伝達する処理方式の開発が必要であった。

## 〔従来の技術〕

従来のPOS端末などからなる売上情報処理装置においては、顧客の買物時には、オペレータは売上商品や金額などをキーボードなどの入力部から入力し、ディスプレイなどの表示部に合計金額などを表示するとともに、プリンタでレシートに商品情報や金額を印字して、フロア装置に入金処理した後に、レシートを顧客に渡していた。

## 〔発明が解決しようとする課題〕

しかしながら、このような従来の売上情報処理装置にあつては、顧客の買物ごとにレシートを顧

問が書込まれる前記情報記録媒体である。

## 〔作用〕

顧客の買物時には情報記録媒体を媒体読出書込装置に挿入して情報記録媒体に売上情報を書き込み、レシートを顧客には発行しない。

このようにレシートが不要となるので、経費を節約することができる。また、用紙がつまったり、また用紙がなくなったときに、用紙の交換を行なう必要がなくなるので、手間がかからなくなり、さらに、混雑時には行列をつくる原因を排除することができる。

## 〔実施例〕

以下、本発明の実施例を図面に基づいて説明する。

第2図および第3図は本発明の一実施例を示す図である。

第2図において、1はストアコントローラ2に接続された複数の売上情報処理装置であり、売

客に発行するようになっているため、レシート用紙が必要であり、経費がかかるという問題点があった。また、レシートの発行時に用紙がつまったり、また用紙がなくなった時には用紙を交換する必要があり、手間がかかるだけでなく、混雑時には行列をつくる原因にもなるという問題点があった。

本発明は、このような従来の問題点に鑑みてなされたものであって、レシートを発行するかわりに、レシート情報を情報記録媒体に書き込むことにより、経費がかからずかつ手間もかからない売上情報処理方式を提供することを目的としている。

## 〔課題を解決するための手段〕

第1図は本発明の原理説明図である。第1図において、1は売上情報を処理する売上情報処理装置、5は該売上情報処理装置に接続され、情報を記録する情報記録媒体6から情報の読出または書込みを行なう媒体読出書込装置、6は顧客の買物時には前記媒体読出書込装置5に挿入され売上

上情報処理装置1は顧客が買物したときの売上情報を処理するとともに売上情報をストアコントローラ2を介してホストコンピュータ3に通知する。

また、売上情報処理装置1はストアコントローラ2を介してクレジット会社などのホストコンピュータ4に接続されている。このホストコンピュータ4は売上情報処理装置1からのクレジットの照合を処理する。

5は売上情報処理装置1にそれぞれ接続されたICカードリードライト装置（媒体読出書込装置）であり、情報記録媒体であるICカード6の挿入口5Aを有し、ICカード6から情報を読み出し、またICカード6に情報を書き込む。

情報記録媒体としては、ここでは前記のように、記憶容量の大きいICカード6を用いるが、ICカード6に限定されるものではなく、磁気カードなどであっても良い。ICカード6は、例えばセキュリティコード部、クレジット会員コード部、顧客情報部、売上情報記録部、サービスコード記録部などからなっている。

特開平3-67395 (3)

顧客の買物時ICカード6にはレシートの代りに売上情報が記録され、家庭または店舗に設定されたパソコンなどの情報処理装置7に接続されたICカードリードライト装置8に挿入すると、売上情報が情報処理装置7により紙9にプリントされるようになっている。

次に、作用を説明する。

まず、ステップS1で顧客が買物時にICカード6を持って売上情報処理装置1に行くと、オペレータはICカード6をICカードリードライト装置5に挿入する。ICカード6の各情報はICカードリードライト装置5により読み取られ、ステップS2で売上情報処理装置1によりセキュリティコードが一致するか否かが判別される。セキュリティコードが一致しないときは、ステップS15へ進み、ステップS15でICカード6が返却される。

セキュリティコードが一致したときは、ステップS3でオペレータは売上情報処理装置1により顧客が買物した商品の売上げ処理を行なう。そし

て、ステップS4で売上を合計した後売上金額に応じてICカード6のサービスコード部にサービスコードを記録する。次に、ステップS5でこのサービスコードの値が一定値に達しているときは、ステップS6で自動的に割り引き処理を行ない、この処理情報をICカード6に記録しておく。

サービスコードの値が一定値に達していないときは、ステップS7でクレジット取引であるか否かを判別し、クレジット取引のときはステップS8でクレジット帳をクレジット会社のホストコンピュータ4に送信し、ステップS9でそのホストコンピュータ4から情報を受信し、ステップS10でクレジット取り引きがOKであるか否かを判別する。クレジット取引がOKであれば、ステップS11で引き落としの処理を行ない、ステップS10でクレジット取引がOKでないとき、また、ステップS7で支払いがクレジットでないときは、ステップS12で現金により入金処理を行ない、ステップS13で売上情報をICカード6に記録する。こうして取り引きを終了すると、ス

テップS1で顧客情報とともに売上情報をホストコンピュータ3に送信し、ステップS15でICカード6を顧客に返却する。

その後顧客は家庭などでICカード6を前記情報処理装置7に挿入することにより、買物した商品情報および金額を確認することができ、必要に応じてプリントアウトすることができ、また、確認終了後、この情報をICカード6より削除することができる。

また、ICカードに記憶された金額情報を利用し、家計簿等の精算を情報処理装置7で行なうことができる。

このように、顧客の買物時に、レシートを発行する必要がないので、レシート用紙が不要となり、その分経費を節約することができる。また、用紙の交換などを行なう必要がないので、手間がかからず、さらに、混雑時に行列をつる原因を排除することができる。

また、従来では常連の顧客へのサービスはサービスチケットを売上に応じて発行し、ある程度た

まったとき、商品と交換するか、また預金ができるというサービスが多かったが、本実施例では売上金額に応じてサービスコードをICカード6に記録し、サービスコードの値が一定値に達すると、自動的に割り引き処理を行なうようにしたため、従来のようにサービスチケットをなくした場合にはサービスを受けることができなくなるなどの不具合がなくなり、きめ細かいサービスを顧客に対して確実に行なうことができる。

また、店舗ではホストコンピュータ3の顧客情報により、個々の顧客の買物動向を把握することができ、安売りなどを行なうときに特定の顧客に案内などを知らせることができる。

#### [発明の効果]

以上説明してきたように、本発明によれば、レシートの代りにレシート情報を情報記録媒体に書き込むようにしたため、レシートが不要となり、経費を節約することができる。また、レシート用紙を顧客に手渡すことが不要となるため、手間が

特開平3-67395(4)

かからず、さらに混雑時に行列をつくる原因を排除することができる。

#### 4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の原理説明図、

第2図は本発明の一実施例を示すブロック図、

第3図は処理ルーチンを示す図である。

図中、

1…売上情報処理装置、

2…ストアコントローラ、

3…ホストコンピュータ、

4…クレジット会社のホストコンピュータ、

5…ICカードリードライト装置

(媒体読出書込装置)、

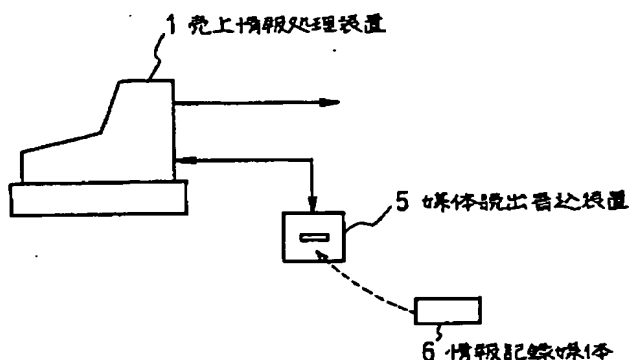
5A…挿入口、

6…ICカード(情報記録媒体)、

7…情報処理装置、

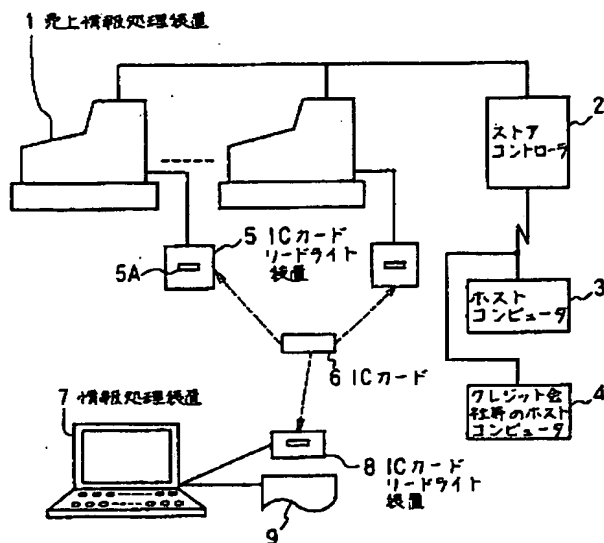
8…ICカードリードライト装置、

9…紙。



本発明の原理説明図

第1図



本発明の一実施例を示すブロック図

第2図

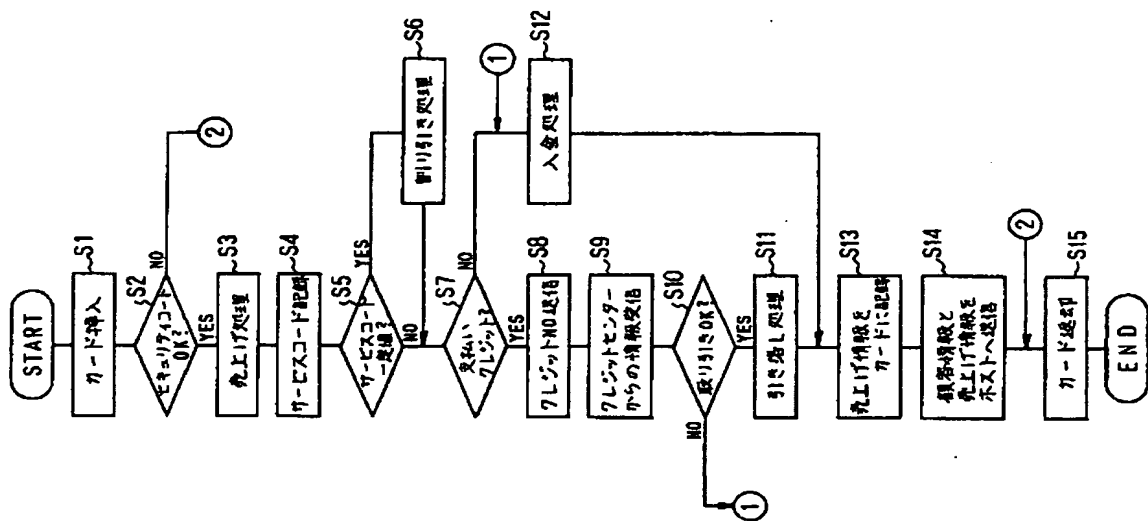


図 8 第 8 図  
処理ルーチンを示す図